

みなと舎シンポジウム 「未来を語り合おう」 みなと舎スタイルって何？

新体制スタート
前半のシンポジウムでは、6月まで理事長で今後も理事としてみなと舎を支える飯野さんと、新理事長の森下さんを中心とした。次回はあります。

と釘をさして笑いを誘つた。
前半のシンポジウムでは、6月まで理

新理事長の話！

みなと舎スタイル！?

森下さんは「未来を創るのは今を生きる私達です。これからもみなと舎は変わらないと言われる存在でいたい」と提言した。メンバーの存在価値をもつと社會に知つてもらう。今後も、笑い声のた

スタッフや役員・評議員など約60名が参加して、大盛況のうちに幕を閉じた。このシンポジウムは、懇親会を真ん中に挟んだプログラム構成となっていた。前半の議論のあと参加者が隣の会場に移動し、して飲んで食べてを楽しんだ後に、その熱をもつて後半の議論に入していくという。斬新なアプローチ。副理事長の水口医師は後半の議論の前に壇上から「あまり盛り上がりながらかつたら次回はあります。」と釘をさして笑いを誘つた。

社会福祉法人みなと舎が、法人内の研修会として7/1(土)シンポジウムを湘南国際センター国際会議場にて開催した。



前理事長の話！

今回の名場面！

後半は「未来を語り合おう」をテーマに3人が発表した。それぞれ「地域共生（近藤さん）」「求人活動（安田さん）」「大切に道のりで、自分なりに努力を重ねてメンバーさんを支えてきた」と思つた人生は、メンバーさんに支えられてきた人生だつた。メンバーの人を突き動かした。生だつた。メンバーさんの存在がまわりの人々を笑顔にさせた。本当にいい存在がまわりだつた。これがまた、この会場が見えてないことを改めて実感した。これからのみなと舎について新たな視点を提案した。

理事長と若手スタッフが歓談。医師も看護師も支援スタッフも、スタッフ一人ひとり、それぞれが主役のような立ち回りをしながら、メンバーさんを中心にはじめ、未来に続く今を楽しんでいる。



みなと舎物語

～重症心身障害児者(メンバーさん)と愉快な仲間たち～

第39回

はまかぜライターが
シンポジウムを
突撃取材！

社会福祉法人
みなと舎

046(855)3911



事業所見学会&
就職説明会開催
7/20木・7/26水